

vegeta 新聞

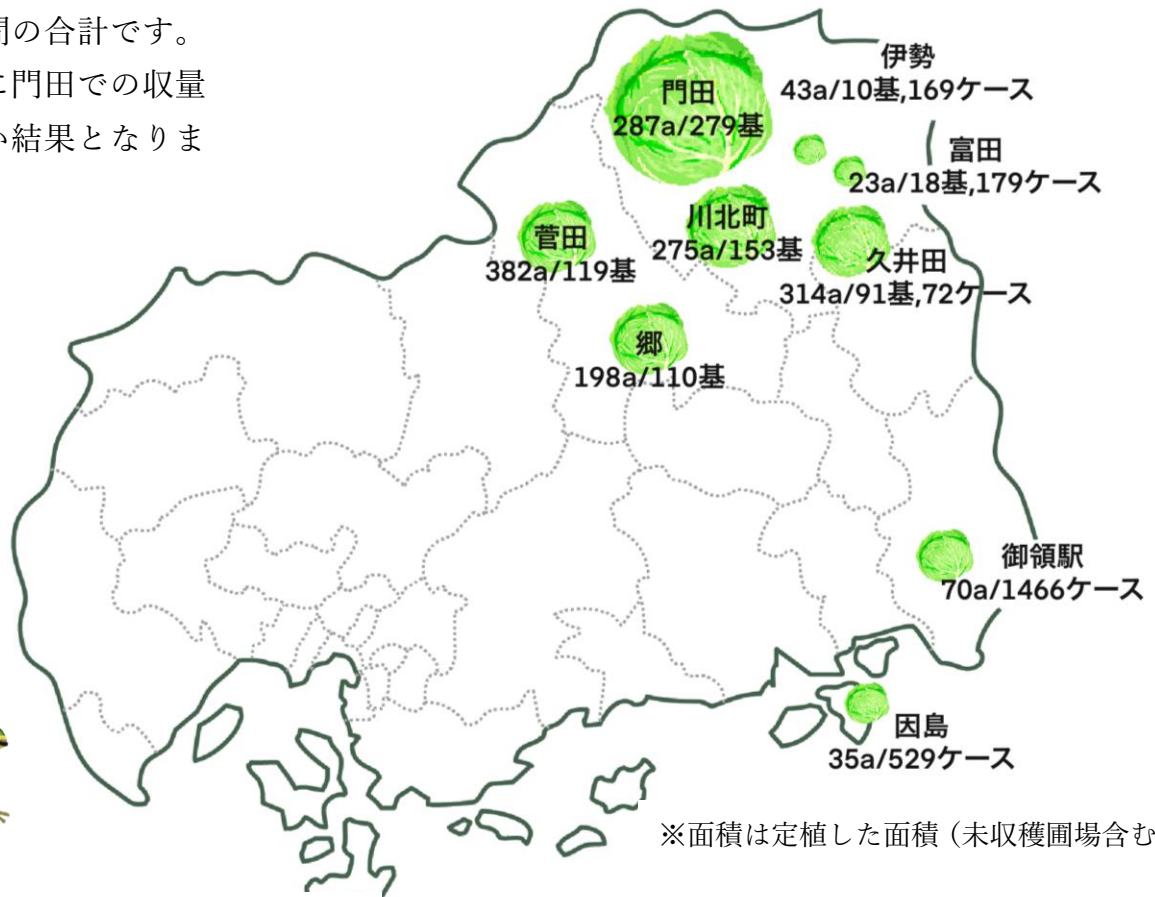
春作キャベツの結果を振り返り。

高暮地区はまだ収穫がありますが、一旦大きな玉を獲るために高野 2 工区の収穫が始まりました。この後キャベツの成長に合わせ高野から口和へ移動します。夏作キャベツへと移行し、春作キャベツの栽培結果が出ましたので下の図にまとめました。

2023年 春作収穫

1627a / 321t

前回、7月号では6/30までの収穫量を載せましたが、今回は全期間の合計です。春作では特に門田での収量が非常に良い結果となりました。



栽培中の夏作キャベツの様子



【3品目栽培中の高野圃場】



【口和で栽培中のキャベツの様子】



夏作キャベツの様子は！？

栽培リーダーの重森さんにお話を聞くと、高暮で栽培した品種の「すいりよく」よりも、高野や口和の「おきな」や「あじたま」の方がやはり夏に向いているとのことでした。お盆前までは虫もほとんど被害がなかったのに、お盆を開けると急激に虫害が発生しており病虫害防除の作業が忙しくなりました。雨もお盆まではほとんど降りませんでしたでしたが、最近は毎日のように夕立の降る夏らしい天気となりました。畑が水で潤う代わりに、腐れなどの症状も出やすいため要注意とのこと。販売担当赤羽さんによると通常、夏は出荷が減りキャベツの価格が上がりますが今年は市場価格は低いとのこと。vegetaは契約先への直接出荷が多く、特に夏は収穫物のほとんどを契約先に出荷しているため価格変動の影響は受けずに販売できています。

2022年		2023年	
圃場グループ	定植開始	圃場グループ	定植開始
高野2工区	5/16	高野2工区	6/5
高野毛無山	5/23	高野毛無山	6/7
持丸2工区	6/23	口和	7/27
口和	8/9		
帝釈	7/7		
川北	7/25	川北	8/7
三次	8/26	三次	8/29
福山	9/29	福山	
因島	9/22	因島	

秋作定植は目標通りにお盆前から8月中に川北

が終わり、9月に入る前に三次の作業へ移ることが出来ました。また、帝釈宇山の会社圃場や、今年初めての栽培する桜谷（帝釈宇山）と濁川（門田近く）も定植しています。宇山下も栽培予定です。

カゴメ用トマト順調に収穫中！



高宮の収穫が終わり、高野の毛無中電工から収穫開始しました。

高宮は5、6月の雨が例年より大幅に多かった影響から病気が発生し、昨年の3割程度の出来でした。高野は昨年に比べ畝間の雑草処理がうまくいき、昨年を大幅に上回る出荷になりそうです。9月20日ごろまで出荷が続きます。



【トマト収穫機を上空から撮影】



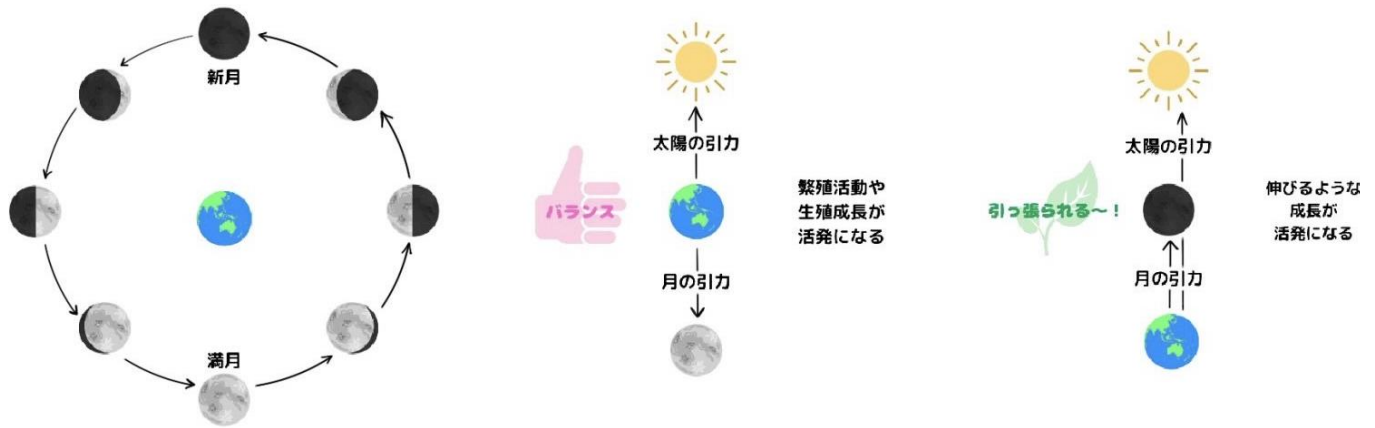
【トマトを選別する東さん、長妻さん、田邊さん】

デントコーン 川土手と富田の収穫が終わり、宇山の収穫に入りました。森川さんを中心にまめな見回りを行っていただき、若干獣害がありましたが被害が拡大する前に収穫が出来ました。昨年並みの収量がとれています。この後10月中旬くらいから高野の収穫が始まる予定です。昨年は高野のデントコーンは台風で倒れてしまい収穫が大変でした。今年は被害が出ないことを祈ります。



やはり満月の後は虫が活発になるのか！？

以前に vegeta 新聞 4 月号で、月の満ち欠けと農業の関わりについてお話しさせていただきました。「新月前後は重力の関係で苗の成長や、種の発芽に強い作用が加わり、満月前後では虫や野菜の繁殖活動が活発になる。」というものです。本当に満月の日に向けて虫たちが卵を産むならば、その 1~2 週間後に芋虫などが大きくなり、虫害が大量発生するというメカニズムも納得です。



今回、キャベツ栽培でお盆前にはそれほどだった畑も、お盆を開けて確認すると虫害が急に増えていたと聞き、満月はいつだったか確認すると 8/2 でした。そのためお盆を挟む 8/9~16 にかけてちょうど虫たちが食欲旺盛な時期になったのではないかと考えました。ちょうどこの頃は台風 6 号が近づき、久しぶりのまとまった雨も降ったので、それも虫を増やす要因となったかもしれません。まだ仮説ですが、もしこのリズムで虫が増える時期が分かるとすれば、次の満月は 8/31 のため、虫が発生しやすい時期は 9/7~14 になります。しかも 8/31 の満月は今年一番月が地球に近づき、重力の影響を与えるとされていますので（スーパーブルームーン）、9 月 1, 2 週目は高野や口和圃場は予防散布をした方がいいかもしれません。

【直近の満月】

8/31、9/29、10/29

※月の満ち欠けの影響を特に受けやすいのは、赤道に近く四季の変化が少ない土地。

日本のように四季があり標高差もある土地はその他の要因も影響するので目安にするくらいが良いとのこと。

県立大学生が頑張ってます。

8/21 から県立広島大学の学生さんが研修に来られています。トマトやキャベツの収穫と一緒に作業をしてくださっているかと思います。

研修を終えた学生さんに感想を聞くと「スマート農業と聞いて来て、ボタン 1 つですべて作業が完了するようなイメージを持っていたが、1 つ 1 つの作業は暑い中でとても大変だった。でも楽しかった。」

「自社の成長だけでなく、地域活性化のための役割を担う会社だと感じた。」「大型の機械を乗りこなす職員さんなどがよかった」との声がありました。引き続き 9/22 までメンバーが変わりながら訪れますのでよろしくお願ひします。

